

総合診療学の実習を通して得た「みる」力

今年6月5日から約4週間、下越病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。実習期間の中で、外来の間診指導や救急外来での初期対応、各種レクチャーなど幅広く経験させていただきました。また総診カンファレンスを経て総合診療学的な視点が、病棟カンファレンスを経て他職種への理解が深まりました。

私が今回の実習を通して感じたのは「みる」の多様性です。「みる」には様々な漢字を当てはめることができますが、どの漢字も医療に必要不可欠な意味を持っています。例えば視覚を表す「見る」を始め、診断を表す「診る」、視点を表す「視る」、ケアを表す「看る」等があります。今回の実習を通して、「みる」ことの多様性を改めて感じました。

実習を通して、私は1人1人の人生に敬意を表し、誠心誠意を尽くして診療にあたる医師になろうと改めて思いました。充実した1か月を経験させていただいたスタッフの皆様、ありがとうございました。